

概 3

沿 革 1977 年─学振 137 委員会メンバーを母体に日本応用磁気学会が発足 1982 年─社団法人認可 2007 年─日本磁気学会に改称

2010年—公益社団法人の認可を受ける

- 分 野 磁気物理, 磁性材料, スピンエレクトロニクス, 磁気応用, 磁気 記録, 光磁気記録, 生体磁気, センサ, アクチュエータ, エネルギー マグネティックス等
- 活 動 学術講演会, 研究会, 専門研究会, 国際会議の主催・共催, 講習会, 国際な済
- 会 員 日本国内・海外より、物理学・化学・工学・生物学や医学など異なった分野から、磁気に関心を持って集まった会員約1,800名

賛助会員 約80団体

所 在 地

事 務 局 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-8 三井住友海上小川町ビル 5 階

Tel. 03-5281-0106

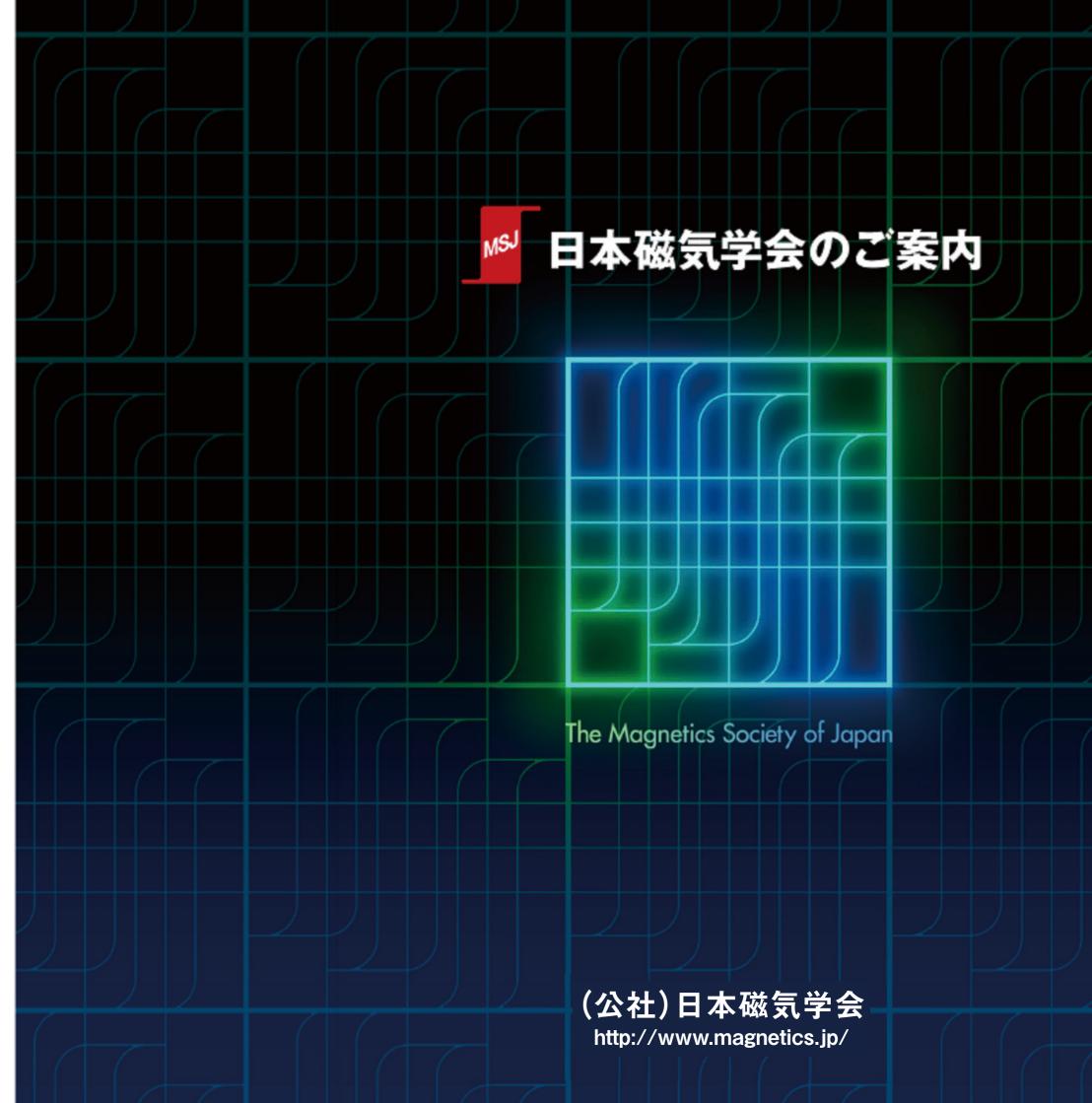
Fax. 03-5281-0107

E-mail: msj@bj.wakwak.com

URL: https://www.magnetics.jp/

アクセス【JR】

- ・中央線、総武線御茶ノ水駅聖橋口より徒歩8分
- ・千代田線新御茶ノ水駅 B1 出口より徒歩8分
- ・都営新宿線小川町駅 B5 出口より徒歩6分

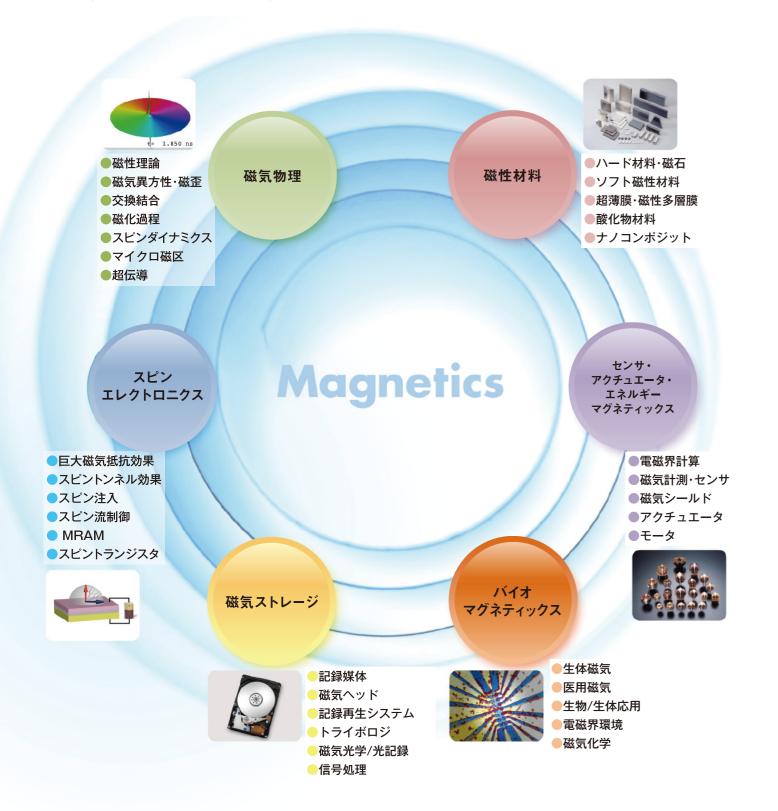




基礎から応用まで、磁気に関する問題を追及。 わたしたちは、日本磁気学会です。

日本磁気学会は、物理学、化学、工学、更には生物学や医学といった、全く異なった分野の多様な価値観を持つ会員が、磁気・磁性というキーワードのもとに集まって構成されているユニークな学会です。 討議の内容も非常に幅広く、磁性物理や磁性理論、磁性材料、スピンエレクトロニクス、磁気ストレージ、エネルギーマグネティックス、磁気センサから、バイオマグネティックス・医療応用へと多岐にわたっています。その学問的深さ、広がりと産業応用への寄与は、計り知れません。

今後も、「国際化 |をキーワードに、活動のフィールドは広がり続けるでしょう。



活動 Activity

学術講演会, 研究会, 講演会から 国際交流まで活動内容も多彩です。

学術講演会

学術講演会は、毎年秋に行われます。毎回約700名の参加者と約400件の研究報告が行なわれ、熱心に討論が展開されます。優れた発表・論文には表彰を行っています。また、男女共同参画懇談会を実施し、男女共同参画にも積極的に取り組んでいます。

専門研究会

専門研究会は、各テーマごとにおよそ隔月で 開催されます。ナノマグネティックス、スピ ンエレクトロニクス、化合物新磁性材料、強 磁場応用、光機能磁性デバイス・材料、エネ ルギーマグネティックスなど学会の主要課題 を深く掘り下げる一方で、毎年新規テーマ導 入を模索しています。



研究会

研究会では、学会・業界の最先端の話題を特集します。毎回、50名前後が参加し、活発な 計議が行なわれます。

- ■医療と磁気の現状と将来展望
- ■高周波用磁気デバイス・材料・評価技術の 現状と新展開
- ■次世代高効率モータの最近の進展
- ■強磁場の分析応用
- ■複合アニオン化合物磁性材料の最前線

岩崎コンファレンス

岩崎コンファレンスは, 磁気分野での創造的・ 先導的研究を育て, 日本における磁気関連研 究の促進を図ること、また基礎研究が実用化された技術を取り上げ、その実用化の要因を若い世代に伝えていくことを目的として開催されています。2年に一度テーマを設けて、その最先端の研究成果と将来への発展について時間をかけて議論しています。

- ■社会基盤の向上につながる磁気センサとそ の応用
- ■磁気理工学のエネルギ分野への革新的展開

教育活動

磁性分野を学びはじめた新会員を中心に磁性の基礎を学習するための講習会を毎年、開催しています。また、小学生を対象にした公開講演会を開催し、磁石の魅力を伝えるための講演と体験コーナーを実施しています。参加者には「じしゃく博士」認定証を贈呈しています。

- ■初等磁気工学講座(1 日,演習付き)
- ■日本磁気学会サーマースクール(3 日間)
- ■公開講演会「磁石の不思議な世界」



国際交流

韓国磁気学会 (KMS), 台湾磁気技術協会



(TAMT), および中国磁性材料及応用学会 (CSSMA) と連携しアジア磁気学会連合 (AUMS) を結成し、国際会議 IcAUMS を開催するなど、アジア地域との交流にも一層の 充実を図っています。

情報発信

WEBや電子メールを利用して磁気に関する 最新の情報を発信しています。

- ■電子ジャーナル
- ■技術情報サービス
- ■メールマガジン
- Facebook

研究会等の共催・協賛

学会内の活動に止まらず、他学会・協会との 共催、協賛を積極的に行なうことで、活動の 幅を広げています。(毎年30件以上)

会 昌

会員数は、約1,800名で、日本国内に止まらず、海外の会員も約50名に達しています。また、 賛助会員も約80団体を数えます。理学と工 学の融合を目指して1977年の設立以来、密 度の高い活動を続ける日本磁気学会。フット ワークが軽く、内容の濃い情報交換が迅速に 行なえるのも、わたしたちの学会の特徴です。

表彰

磁性分野の学術の発展に寄与された方には学会から賞が授与されます。毎年開催される講演会において、学会賞、業績賞、優秀研究賞、論文賞、学術奨励賞、出版賞、新技術・新製品賞、学生講演賞、技術功労賞および学会活動貢献賞を表彰しています。また、編集委員会では学生が投稿した優れた論文に対して、MSJ論文奨励賞の授与を行っています。

会員特典

学会行事は、全て会員によって運営されています。全ての行事に会員は自由に参加でき、 発言できます。その他、数々の会員特典が用意されています。

■会報「まぐね」を無料配布します。また,英文論文誌「日本磁気学会誌」(Journal of the Magnetics Society of Japan) および和英文論文誌「日本磁気学会論文特集号」(Transaction of the Magnetics Society of Japan-Special Issues-)をWEB上で閲覧できます。



- JOURNAL OF THE MAGNETICS SOCIETY OF JAPAN
- ■磁性に関する最新情報をWEB上で閲覧できます。(技術情報サービス、磁気に関するQ&A)
- ■講演会に参加して研究成果を発表できます。
- ■本会主催の講演会・シンポジウム、研究会・専門研究会などに参加できます。
- ■本会の協賛・後援の講演会やシンポジウムなどに会員資格で参加できます。
- ■学生会員は、各種講演会、シンポジウム等に格安の学生料金で参加できます。
- 賛助会員は、本会の協賛・後援の講習会やシンポジウムなどに会員資格で参加できます。

入会について

会員種別は,正会員,学生会員,賛助会員の3種です。

- ■いつでも入会できます。
- ■入会手続きについては、ホームページをご覧下さい。

https://www.magnetics.jp/

■入会金と年会費は、次のとおりです。

会員種別	入会金	会費(年額)
正会員	2,000円	10,000円
学生会員(学会誌必要)	1,000円	5,000円
学生会員(学会誌不要)	1,000円	3,000円
賛助会員		50,000円/1口